

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.180 2012.5.1

松本まるごと博物館 本館と分館・全15館

学都・松本の屋台骨を支えます

平成24年は、松本市に博物館が誕生してから106年目になります。歴史の重さを十分に意識し、全15館がベクトルをひとつにして事業を展開、市民の学びにかかわります。今年、いくつかの分館では、周年記念事業を行います。そのうちのひとつ、丸山太郎が創設した松本民芸館は開館50周年を記念し、企画展「50年の歩みと丸山太郎のこころざし」ほか多彩な事業を開催します。丸山はその著書『松本そだち』（昭和51年）で次のように述べています。

私の見る眼と、観者の見る眼と

合致した時の喜びは最高といってよい

私たち博物館関係者にとって耳の痛い、しかし、きわめてわかりやすい言葉です。この30文字に、資料の蒐集と、誰もが足を運びたくなる博物館のあり方が凝縮されているのではないだろうか。

丸山が私たちに遺したこの一文を今一度噛みしめながら、博物館全館が学都・松本の創造に向けて歩みます。

松本市立博物館

職員一同



松本民芸館の寄贈式(昭和58年4月1日)
丸山太郎夫妻と和合市長(当時)



松本民芸館1号館・2号館(昭和40年頃)

もくじ 博物館TOPICS ◇ 松本まるごと博物館。今年の周年事業	2
松本市立博物館条例の改正	3
ひとの動き	4
ガイドコーナーはんてんぼく	4

15館で構成される松本まるごと博物館、それぞれの分館にはそれぞれの歴史があります。今年度は4館がそれぞれ記念の年を迎えます。今号はそれらの施設の周年事業を紹介します。(紹介は次ページ)

松本まると博物館。今年の周年事業

松本民芸館開館50周年記念展

「丸山太郎と民藝の巨匠たち」 ☎ 0263-33-1569



卵殻貼六角筆筒(丸山太郎作)

昭和37年(1962)に開館した松本民芸館は今年で開館50周年を迎えます。これを記念し、松本民芸館50年のあゆみと、創館者・丸山太郎の作品や、丸山と親交のあった民藝の巨匠たちの作品を展示する特別展を開催します。会期中

日本民藝協会の夏期学校全国大会が松本で開催されます。

[会 期] 平成24年7月31日(火)～9月30日(日)

[会 場] 松本民芸館

[観覧料] 常設展観覧料

[主な展示内容]

①民芸館50年のあゆみ

②創館者・丸山太郎の作品

③丸山太郎と親交のあった民藝作家たち

丸山太郎(卵殻細工)、柳宗悦(掛軸)、河井寛次郎(陶磁器)、芹沢銈介(染・織物)、浜田庄司(陶磁器)バーナード・リーチ(掛軸・陶磁器)、棟方志功(版画・肉筆画)、黒田辰秋(漆工芸)、円空・木喰仏
日本民藝館・豊田市民芸館所蔵資料

時計博物館開館10周年記念展

「時の蒐集者」

☎ 0263-36-0969

時計博物館では開館10周年を記念して、当館の中核資料である本田コレクション、色彩の魔術師とも呼ばれる写真家・緑川洋一氏の古時計コレクション、時・時計の守護で有名な近江神宮の時計館宝物館コレクションを中心に、世界の古時計を一堂に会する特別展を開催します。また、関連事業として記念講演会を予定しています。

[会 期] 平成24年7月28日(土)～9月2日(日)

[会 場] 時計博物館 3階企画展示室

[観覧料] 常設展観覧料

[主な展示内容]

①本田コレクション／当館所蔵資料

②緑川コレクション／岡山県、緑川洋一資料室蔵

③近江神宮コレクション／近江神宮 時計館宝物館蔵



緑川洋一資料室(緑川園科)のコレクション

重要文化財馬場家住宅開館15周年記念展

「馬場家住宅15年の歩み」

☎ 0263-85-5070

馬場家住宅では開館15周年を記念して、馬場家の歴史を振り返る展示、地元伝統芸能などの関連事業を開催します。これまで馬場家住宅で行われてきた講座を中心に、古民家の活用事例を紹介するとともに、保存修理工事の記録などもあわせて紹介します。また、特別展開催期間中には、バス見学会、コンサート、講演会、お茶席の会などの関連行事を計画中です。

[会 期] 平成24年9月15日(土)～10月14日(日)

[会 場] 馬場家住宅主屋ほか

[観覧料] 常設展観覧料

[展示テーマ]

①保存修理工事と周辺の重文指定古民家

②馬場家住宅で行われてきた講座や企画展の紹介

③文化・学習活動の拠点として



ササラ踊り(平成19年 開館10周年記念)

山と自然博物館開館5周年記念展 「城山の自然」

☎ 0263-38-0012

山と自然博物館では開館5周年を記念して、城山山系について紹介する特別展を開催します。城山山系は、自然豊かな里山として、古くから利用されてきました。山と自然博物館が立地するアルプス公園は、昭和11年から42年まで県の種畜場が設けられ、廃止後の昭和50年にその跡地を都市公園として整備し、現在に至ります。山と自然博物館では開館5周年を機に、アルプス公園を中心とした城山山系についての特別展を開催するとともに、アルプス公園周辺の自然を考えるシンポジウムや、アルプス公園トレッキングを通して、身近な自然をより多くの人々に知ってもらう事業を開催します。

【会 期】平成24年7月14日(土)～9月2日(日)

【会 場】山と自然博物館

【観覧料】常設展観覧料

【展示テーマ】

- ①アルプス公園開園の頃
- ②四季の見どころ
- ③城山の自然
- ④四季の恵み
- ⑤山と自然博物館
- ⑥城山歳時記



シナノタンポポ(5月)



アルプス公園観察会

松本市立博物館条例の改正

平成24年4月1日より、松本市立博物館条例を改正しました。今回の改正では、松本まると博物館推進を目指して、条例の一本化や、各施設の管理運営の見直しを行いました。主な改正内容は次のとおりです。

①松本市立博物館のもとに分館を置き、分館のもとに附属施設を置きます。

①本館 松本市立博物館

②分館

- 重要文化財旧開智学校校舎

- 松本民芸館

- 松本市立考古博物館

- 松本市はかり資料館

→ ①旧三松屋蔵座敷

- 松本市旧司祭館

- 旧制高等学校記念館

- 窪田空穂記念館

→ ①窪田空穂生家

- 重要文化財馬場家住宅

- 松本市歴史の里

→ ①旧長野地方裁判所松本支部庁舎

②工女宿宝来屋

③旧松本少年刑務所独居舎房

④旧昭和興業製糸場

⑤木下尚江生家

⑥その他付帯施設

- 松本市時計博物館

- 松本市山と自然博物館

- 松本市高橋家住宅

- 松本市四賀化石館

- 松本市安曇資料館

②博物館長の諮問機関である博物館協議会を設置します。

③休館日・開館時間を見直します。

①旧開智学校校舎・旧司祭館

【開館時間】午前9時～午後5時

3月～11月の第3月曜日を休館、

12月～2月は毎週月曜休館

②考古博物館

窪田空穂記念館

四賀化石館

通常は月曜日休館、冬季(12月～2月)は、年末年始を除いた土日祝祭日のみ開館

③安曇資料館

5/1～11/30までの土日祝祭日のみ開館(12月～4月は閉館)

※観覧料は無料化

④高橋家住宅

通常は土日祝祭日開館、冬季(12月～2月)は、年末年始を除いた日曜日のみ開館

④特別観覧料金を統一します。

①デジタルデータの使用

- 学術研究用 ― 500円

- その他 ― 1,000円

②撮影

- 学術研究用 ― 2,000円

- その他 ― 4,000円

③原板使用

- 学術研究用 ― 1,000円

- その他 ― 2,000円

④熟覧 ― 3,000円

ひとの動き

4月1日付で、次のように職員の転入・転出等がありました。()内は所属。

転入 よろしくお願ひします。

[所長(嘱託)] 小穴定利 (旧開智学校)
 [館長(嘱託)] 鳥羽清次 (馬場家住宅)
 [館長(嘱託)] 古田善雄 (歴史の里)
 [館長(嘱託)] 塩原明彦 (山と自然博物館)
 [主 事] 山下太一 (高齢福祉課
 →山と自然博物館)
 [事務員] 宮井博樹 (博物館)
 [嘱託] 齋藤由理 (こども福祉課→民芸館)

退職・転出 お世話になりました。

[所長(嘱託)] 宮島吉秀 (旧開智学校→退職)
 [館長(嘱託)] 岡田賢信 (考古博物館→退職)
 [館長(嘱託)] 丸山 潔 (山と自然博物館→退職)
 [館長(嘱託)] 前田隆之 (歴史の里→退職)
 [主 任] 山村里佳 (旧開智学校→市民課)
 [主 事] 高山直樹 (博物館→納税課)
 [嘱託] 百瀬英昭 (山と自然博物館→保険課)

課内異動 改めてお願ひします。

[館長(嘱託)] 保科利守 (馬場家住宅→考古博物館)
 [主 査] 澤柳秀利 (山と自然博物館→旧開智学校)
 [嘱託] 松本和子 (民芸館→山と自然博物館)



ガイドコーナー はんてんぼく

5月1日 松本まると博物館全館 市制施行記念日無料開館

5月～6月の行事予定です。行事の詳細内容確認や申込、応募方法につきましては、各館へお問い合わせください。

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

工芸の五月参加企画「復活 みすず細工」

会 期 4月28日(土)～5月27日(日)
 観覧料 通常観覧料

バス見学会「工芸を巡る」

日 時 5月18日(金) 午前9時～午後3時30分
 参加料 200円(要申込)

重要文化財旧開智学校校舎から ☎0263-32-5725

「旧開智学校校舎の裏側
～擬洋風建築について～」

会 期 4月21日(土)～6月24日(日)
 観覧料 通常観覧料

松本民芸館から ☎0263-33-1569

「美しいものが美しい丸山太郎のまなざし～」

会 期 4月24日(火)～7月29日(日)
 観覧料 通常観覧料

「50年の歩みと丸山太郎のころざし」

会 期 4月24日(火)～平成25年2月24日(日)
 観覧料 通常観覧料

四賀化石館から ☎0263-64-3900

化石教室

日 時 5月26日(土)
 午前の部 午前9時～正午
 午後の部 午後1時～4時
 参加料 500円

化石見学・採集

日 時 6月30日(土)
 午前の部 午前9時～正午
 午後の部 午後1時～4時
 参加料 500円

旧制高等学校記念館から ☎0263-35-6226

旧制高等学校記念館友の会記念コンサート
「美しき魅惑の国、クロアチアから音楽の贈り物」

日 時 6月19日(火)
 午後3時開場、3時30分開演
 入場料 無料(要申込)

松高祭歌祭

風薫るあがたの森に、いざ歌へいざ舞へや

日 時 5月19日(土) 午後1時から4時
 資料代 1,000円(要申込)

第49回あがた美術会展

会 期 5月19日(土)～6月17日(日)
 観覧料 無料

考古博物館から ☎0263-86-4710

ミニパネル展「第三地区わが地区の逸品
～県町遺跡の出土品～」

会 期 4月27日(金)～7月1日(日)
 観覧料 通常観覧料

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

企画展「松本押絵雛による五月人形展」

会 期 4月28日(土)～6月10日(日)
 観覧料 通常観覧料

お茶席の会

日 時 5月13日(日)、6月24日(日)
 午前10時～正午
 参加料 通常観覧料

はた織り体験教室

日 時 6月23日(土)
 午前の部 午前10時～正午
 午後の部 午後1時～3時
 受講料 1,000円

歴史の里から ☎0263-47-4515

高機で裂き織り体験

日 時 5月17日(木)、6月16日(土)
 午前の部 午前10時～正午
 午後の部 午後1時～3時
 受講料 1,000円

絹織り体験

日 時 6月21日(木) 午前10時～午後3時
 受講料 3,000円

時計博物館から ☎0263-36-0969

時の記念日事業「江戸の絡繰」

会 期 5月26日(土)～6月24日(日)
 観覧料 通常観覧料

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

春の野外自然観察会

日 時 5月12日(土) 午前9時30分～正午
 参加料 100円

はかり資料館から ☎0263-36-1191

工芸の五月参加企画「中町と民芸」

会 期 4月28日(土)～5月31日(木)
 観覧料 通常観覧料

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

特別コーナー展示「関東大震災と空穂」

会 期 3月10日(土)～5月13日(日)
 観覧料 通常観覧料

空穂茶会

日 時 5月13日(日) 午前10時～午後3時
 参加料 1,500円

あとがき

新しい年度がはじまり、様々な事業がはじまります。15館ある松本市立博物館、今回のガイドコーナーはんてんぼくには全ての行事を掲載できませんでした。毎回参加の行事で未掲載のものがありましたら、お気軽に各館へお問い合わせください。(M.O)

あなたと博物館 No.180

発行年月日/平成24年5月1日 編集・発行/松本市立博物館
 〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133 URL: <http://www.matsu-haku.com>
 e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp 印刷 川越印刷株式会社